

府中市消防団 検索



第63号

発行 府中市消防団
編集 府中市消防団広報委員会
(府中市防災危機管理本部危機対策担当内)
TEL 042・335・4068

【消防団出動件数(令和7年1月から令和7年12月まで)】	
災害件数(誤報を含む)	77件
災害出動延べ人数	3,266人
その他出動(訓練など)件数	247件
その他出動(訓練など)延べ人数	4,384人

府中市消防団 出初式

令和8年1月11日(日) 府中公園

毎年恒例の伝統行事である府中市消防団出初式が、府中公園において挙行されました。

この出初式は、消防団の勇姿を市民に披露するとともに、団員にとっては、日頃からの訓練の成果を発揮し、ご臨席いただいた方々からの激励を受け、改めて地域の安全・安心のために力を尽くすことを固く誓う場でもあります。式典に先立ち、22台のポンプ車等による市内パレード、また会場内では、睦消防組による伝統の木遣り行進、梯子乗りが行われ、素晴らしい演技が披露されました。

また今年から新たな試みとして、府中市消防団・



第53回東京都消防操法大会優勝!!

令和7年10月18日(土)

我々第11分団は東京都消防操法大会に向けて、厳しい中にも楽しみを見出しつつ訓練を行ってまいりました。1年間を通して、団員それぞれに担当部門を設け、選手のバックアップや体力強化、日々の訓練の記録を行ってきました。1年という長い月日の中で団員同士意見のぶつかり合いなどありましたが、それも選手第一で選手がより活躍し、結果を残しやすいものを見出すための貴重な時間だったと思っています。

その結果、東京都大会優勝という最高の結果を得られたことは出場選手のみならず、分団全体としても非常に嬉しく感じております。川崎団長をはじめとする団本部や各分団の方々、防災危機管理本部の方々、府中消防署の方々の支えや応援があったことで最高の結果が成し遂げられたものと思います。この場をお借りして深く御礼申しあげます。

これからも、第11分団は府中市、東京都の代表として全国大会へ挑んでいきたいと思っておりますので、引き続き応援のほどよろしくお願いたします。

ここで、東京都消防操法大会の監督、メンバーからコメントをいただきたいと思っております。

第11分団 広報委員 加藤 聖也



▲優勝した第11分団



▲操法演技中の選手ら

【第11分団総監督 分団長 夏目 雅樹】
この東京都消防操法大会出場に際し、長期にわたる訓練に延べ何百人もの団員の皆さんにお手伝いをいただけたこと、大会当日にはどこにも負けない圧倒的な大声援で最高の後押しをしていただいたこと、関わっていただいたすべての方に心から感謝します。

優勝が決まると皆さんの方々に祝福していただき府中市消防団の一員であることに最大級の感動をおぼえました。この素晴らしい瞬間に分団長として立ち会えたことは人生最高の幸せです！今年も全国のトップに府中市消防団の名を刻めるよう頑張りますので、団員の皆さんにはまた訓練にお顔を出していただけたら幸いです。府中市消防団万歳!!

【指揮者 廣瀬 良太】

東京都消防操法大会、優勝しました!!
府中市消防団の歴史上新の快挙達成!!
指揮者として仲間をまとめる立場はプレッシャーもありましたが、全員で支え合いながら訓練を重ね、本番では最高のパフォーマンスができました!!

あの瞬間の感動は一生忘れません!!
みんなで頑張った成果が出て最高の気分です!!
応援・サポートありがとうございました!!
10月31日の全国消防操法大会の応援もよろしくお願いたします!!

【1番員 松原 由弥】
みなさんこんにちは。1番員を務めさせていただきます。約10ヶ月間、携わっていた皆様方のサポートがあり府中市消防団初の優勝を無事に勝ち取ることができました。誠にありがとうございました。本当に感謝しありがとうございます。

訓練を始めた当初から、大会を終えた帰り道まで大変楽しい道でした。次の全国大会で3年連続選手を務めることとなり、僕の恋の青春が遠ざかってゆきますが、全力で悔いの無いよう挑みますのでよろしくお願いたします。できる限り、できるっ!!

【2番員 小澤 亮賢】

東京都消防操法大会で優勝し、全国大会への出場を果たすことができました。これまでの道のりは決して平坦ではありませんでしたが、府中消防署の皆様によるご指導、惜しみないサポートをしてくださった本団の皆様、そして夏目分団長をはじめ、第11分団の先輩方、後輩達の励ましと協力、さらには他分団の皆様や家族の温かい支えがあったからこそ結果だと強く感じています。心から感謝申し上げます。

2番員として日々の訓練に臨む中で、技術だけでなく、チームワークや信頼の大切さを改めて実感しました。全国大会では、これまでの努力と支えてくださったすべての方々への感謝を胸に、東京都代表として恥じぬ操法を披露できるように、仲間と心を一つに全力で挑みます。今後とも温かいご声援をよろしくお願いたします。

【3番員 小澤 新】

この度の東京都消防操法大会に向けて、多大なご協力を賜りました府中消防署、本団、防災危機管理本部、各分団の分団長はじめ団員の皆様、消防会、女性消防団員、地域の諸先輩方に改めて御礼申しあげます。皆様のご協力のおかげで優勝することができました。

第11分団一丸となって全国大会に向けて尽力してまいりますので、今後ともご支援のほどよろしくお願いたします。

【4番員 小園井 一輝】

この度、4番員に選ばれプレッシャーに潰されそうな日々が続き、夢の中で操法演技を行う程追い込まれていました。笑

その結果府中市消防団史上初優勝！全国大会への切符を勝ち取ることができました！本当に辛い訓練の日々が続きましたが、支えてくれた第11分団のメンバーや訓練をサポートしてくれた各団の皆様、指導していただいた教官の方々、各分団長の皆様と勝ち取った全国大会と想っています。

何より選手として選んでいただき、熱心に指導をいただいた、夏目分団長やともに訓練してきたメンバーには感謝しきれません。

夏目分団長を漢に！何より東京都1位の次は全国1位に!!我々らしく全国大会でも暴れますので引き続き暑いサポートをよろしくお願いたします。



▲出場選手

永年勤続表彰



おかげさまで永年勤続30年を迎えることができました。平成5年の入団当時、これまで消防団員を継続するとは想像もできませんでした。関係各位、皆様の誠実な人間性に導かれ、消防団活動を継続することができました。消防団員として過ごした時間は、この上ない自分の財産となっており心より感謝申し上げます。何よりもこの貴重な体験を後押ししてくれ支えてくれた妻・家族に最大限の感謝を表します。ありがとうございました。

団本部 副団長 村井 雅一



30年勤続 (1名)

団本部 副団長 村井 雅一

25年勤続 (1名)

第3分団 副団長 加藤 泰裕

15年勤続 (12名)

第4分団 副団長 河内 大裕
第7分団 班長 小林 研人
第8分団 班長 藤島 裕也
第8分団 班長 佐々木 俊
第8分団 班長 清水 航
第9分団 班長 鴨下 貴仁

10年勤続 (15名)

第2分団 班長 中 慶紀
第4分団 班長 山下 輝己
第4分団 班長 石井 知弘
第6分団 班長 鈴木 辰朗
第6分団 班長 吉川 健太
第9分団 班長 池田 伊晴
第9分団 班長 関谷 亮平
第9分団 班長 渡邊 真宏

5年勤続 (19名)

第2分団 班長 和田 勇樹
第3分団 班長 米原 拓弥
第4分団 班長 河内憲史郎
第5分団 班長 細野 雅行
第5分団 班長 山田 幸幸
第6分団 班長 小嶋 史哉
第9分団 班長 北原 優
第9分団 班長 熊谷 拓人
第10分団 班長 岡部 直樹
第11分団 班長 加藤 聖也

消防団備品紹介

消防団活動で使用している備品の一部を紹介します。

第6分団 班長 榎本 慎一郎

無線機

合同の訓練や火災現場など野外での活動時に分団の指揮者が携帯して、本団及び分団間で連絡をとるために使われています。特に震災の発生を想定した合同訓練では無線による情報の連携が重視されています。また歳末特別警戒の最後には、各分団が無線が順番に挨拶することが恒例となっています。



発電機

持ち運びができる発電機で、ポンプ車には常に搭載されています。プラグを差すことで通常の電源として利用できます。消防団活動では主に夜間、周囲を照らす照明器具の電源として使われます。



フローティングストレーナー

本年度、新たに配備されました。昨今発生している大雨等による浸水に対応するための装備となっています。排水活動の際に、地面が浸水していると消火ホースが水没してゴミ等を吸い込んでしまうため、水に浮くフローティングストレーナーに消火ホースを接続し排水します。



日頃の訓練紹介

第14分団 団員 新澤 宏

火災や災害発生時に迅速・的確に対応出来るよう、分団ごと、月2回から3回の頻度で訓練を実施しています。

- 1 基本訓練
2 消火活動訓練
3 資機材取扱い訓練
4 ポンプ車での巡回



1 基本訓練は、整列・号令・点呼・姿勢・敬礼など、団として統制された行動をとるための規律訓練です。日頃の訓練の開始時と終了時に行い、新入団員が先輩から教わる最初の訓練でもあります。
2 消火活動訓練は、ポンプ車の操法訓練、ホースの延長・結合・撤収、実際の火災現場を想定した吸水・

放水訓練(水利からの吸水、筒先操作など)を行います。多摩川に近い分団も多く、消火栓だけでなく、河川など自然水利からを想定した訓練も行っています。
3 資機材取扱い訓練は、消火器具の使用、可搬ポンプや発電機・照明器具や無線機の使用など、有事の際に使う機器の取扱い訓練です。ポンプ車と共に照明電源車を保有している分団もあるため、照明電源車の操法確認、可搬式投光器の確認もしっかり行っています。

広報委員長コラム



広報委員長 第2分団 部長 長代 則彦

いつも府中市消防団の活動にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。今年度は、新たに女性消防団員が誕生しました。地域を思う新たな仲間が加わり、活動の幅がぐっと広がりました。火災だけでなく、風水害や地震など、災害への備えがますます大切になる中、多様な力が加わることはとても心強いです。また、今号では、団員が自ら取材した訓練の様子や装備品の紹介を掲載しています。現場の生の声を通して、消防団の真剣さと温かさを感じていただければ幸いです。これからも、市民の皆さまと共に安全で安心なまちを守り続けてまいります。どうぞ変わらぬご支援をよろしくお願いいたします。

女性消防団員

「小梅隊」



このたび、府中市消防団で初めてとなる女性消防団員が誕生しました。愛称は「小梅隊」です。名前の由来には市の花である梅のように、凛として力強く地域に根差した活動をしていきたいという思いを込めています。

女性ならではの視点で幅広い世代に寄り添える存在となるため、団員一人ひとりが責任と誇りを持ち「地域を守る」という消防団の使命を胸に日々研鑽を重ねています。

これまで男性中心であった消防団に新しい力が加わり、防災啓発や応急手当の普及活動など、地域に密着した取組が皆さまと共に安全で安心できるまちづくりを進めてまいります。

これからの「小梅隊」の活躍にぜひご注目ください。

団本部 団員 湯川 真紀
団本部 団員 鈴木 梢子

広報委員会名簿

Table listing members of the Public Relations Committee, including names and their respective divisions.